

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

TEL 03-3396-3052

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,823	14.7	181	—	110	—	41	—
25年3月期第2四半期	1,590	8.6	△28	—	△74	—	△58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	3.35	—
25年3月期第2四半期	△4.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	11,054	3,693	33.4	295.50
25年3月期	10,424	3,728	35.8	298.29

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,693百万円 25年3月期 3,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	△3.8	450	△8.3	320	△18.6	160	△26.6	11.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	13,741,014 株	25年3月期	13,741,014 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,242,584 株	25年3月期	1,242,086 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,498,678 株	25年3月期2Q	12,684,567 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済政策に対する期待感や金融緩和策による円安・株高が進むに伴い輸出関連企業を中心に収益が改善する等、景況感は良好に推移しました。しかしながら、足元の個人消費については、一部の嗜好品に持ち直し感はあるものの、消費者の節約志向は依然根強いものがあり、明確な改善を実感するまでには至っておりません。

当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず、霊園事業においては、購買意欲の減退に並行し霊園への来園顧客数は減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、屋外墓地から供養の全てをパックした堂内陵墓事業へ比重の転換を図っており、当社売上及び利益に貢献しております。

一方、葬儀業界では、葬儀の小規模・地味化傾向が一層顕著となると共に価格競争が激化し顧客単価下落という厳しい環境にあるものの、家族葬を中心としたラステル葬が顧客からの支持を受け、葬儀売上に貢献した結果、当社の売上は前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高18億2千3百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益1億8千1百万円（前年同四半期営業損失2千8百万円）、経常利益1億1千万円（前年同四半期経常損失7千4百万円）、四半期純利益4千1百万円（前年同四半期純損失5千8百万円）となりました。

各セグメントの状況

< 霊園事業 >

従来式の屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地の買い控え及び小規模区画墓地傾向が続く環境下、「高島平浄苑(東京都板橋区)」の開園をはじめ、一つのお墓に多数のお骨を収める共有墓や新たに樹林墓の募集等を進めましたが、売上高は6億6千8百万円（前年同四半期比9.5%減）となりました。

< 堂内陵墓事業 >

堂内陵墓第四号「覚王山陵苑(名古屋市千種区)」は、第1四半期で完売となりました。第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、顧客の価値観を超える重厚な施設と立地が好感を呼んでおり、当初の計画通り順調な販売実績を上げております。売上高は5億2百万円（前年同四半期比66.2%増）となりました。

< 葬祭事業 >

葬儀の地味化傾向が一層顕著となり、施行単価は下落しております。当社は、従来の葬儀の流れである、葬儀社主導の施行形態を変革することを目的として、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド、ご遺体安置施設「ラステル(ラストホテル)」を運営しております。第一号「ラステル久保山(横浜市西区)」及び第二号「ラステル新横浜(横浜市港北区)」は、葬儀の小規模化を望む現代の顧客ニーズに合致しており、施行件数は順調に推移しております。当社独自のビジネスモデル「ラステル」は今後の葬儀部門の売上に貢献してくると確信しております。売上高は6億5千2百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、110億5千4百万円となり、前事業年度末に比べ6億3千万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、8億5千5百万円増加し、43億4千8万円となりました。その主な要因は、現金及び預金9億5千4百万円の増加、売掛金5千5百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、2億2千5百万円減少し、67億6百万円となりました。その主な要因は、長期未収入金1億8千5百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、8千9百万円増加し、33億3千5百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金1億4千2百万円及び短期借入金7千1百万円の増加、未払法人税等8千5百万円及び未成工事受入金4千1百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、5億7千5百万円増加し、40億2千6百万円となりました。その主な要因は、社債2億7千4百万円及び長期借入金2億7千万円の増加によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、3千5百万円減少し、36億9千3百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金5千1百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に投資活動による回収及び長期借入金の純増による収入があり、前事業年度末に比して、9億5千6百万円増加し、25億9千3百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、5千7百万円（前年同四半期は4千7百万円の獲得）となりました。これは主に、営業収支による獲得2億4千2百万円、法人税等の支払1億2千7百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、2億1千万円（前年同期は9億1千4百万円の使用）となりました。これは主に、霊園開発協力金の純減による回収1億3千5百万円、差入保証金の回収1億円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、6億8千7百万円（前年同期は2億7千2百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の純増による収入3億9千6百万円、社債の純増による収入3億1千4百万円によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点、平成25年5月9日に公表いたしました通期の業績予想からの修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,963	3,266,393
完成工事未収入金	51,978	49,185
売掛金	186,254	130,494
永代使用権	491,652	437,376
未成工事支出金	285,291	310,026
原材料及び貯蔵品	64,650	66,005
その他	101,004	89,242
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	3,492,781	4,348,713
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,171,671	1,116,030
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	33,743	28,771
有形固定資産合計	2,740,939	2,680,325
無形固定資産	47,949	67,180
投資その他の資産		
長期貸付金	183,604	177,298
差入保証金	898,685	1,318,066
壺園開発協力金	1,508,520	1,055,528
その他	1,587,833	1,442,730
貸倒引当金	△35,935	△34,908
投資その他の資産合計	4,142,708	3,958,715
固定資産合計	6,931,597	6,706,221
資産合計	10,424,378	11,054,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,249	70,625
短期借入金	424,408	495,947
1年内返済予定の長期借入金	1,640,655	1,783,243
1年内償還予定の社債	360,000	412,000
未払法人税等	132,277	47,138
賞与引当金	46,400	27,700
その他	573,675	498,759
流動負債合計	3,245,666	3,335,414
固定負債		
社債	440,000	714,000
長期借入金	2,614,390	2,885,207
退職給付引当金	240,112	247,956
役員退職慰労引当金	155,603	165,133
その他	300	13,984
固定負債合計	3,450,406	4,026,281
負債合計	6,696,072	7,361,695

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,699,858	1,647,938
自己株式	△227,425	△227,529
株主資本合計	3,737,357	3,685,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,719	20,852
繰延ヘッジ損益	△15,770	△12,947
評価・換算差額等合計	△9,051	7,904
純資産合計	3,728,306	3,693,239
負債純資産合計	10,424,378	11,054,934

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,590,153	1,823,158
売上原価	549,218	550,992
売上総利益	1,040,935	1,272,166
販売費及び一般管理費	1,068,967	1,090,836
営業利益又は営業損失(△)	△28,032	181,329
営業外収益		
受取利息	3,367	2,210
受取配当金	5,644	7,444
業務受託手数料	8,571	—
その他	19,583	10,625
営業外収益合計	37,166	20,280
営業外費用		
支払利息	60,999	60,559
その他	22,447	30,100
営業外費用合計	83,446	90,660
経常利益又は経常損失(△)	△74,313	110,949
特別損失		
固定資産除却損	5,621	15,656
特別損失合計	5,621	15,656
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△79,934	95,292
法人税、住民税及び事業税	4,179	43,275
法人税等調整額	△26,093	10,195
法人税等合計	△21,914	53,471
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,020	41,821

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	1,680,959	1,844,599
原材料又は商品の仕入れによる支出	△433,784	△470,853
人件費の支出	△499,303	△586,156
その他の営業支出	△563,190	△545,369
小計	184,680	242,220
利息及び配当金の受取額	7,902	7,753
利息の支払額	△61,405	△64,492
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△83,332	△127,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,845	57,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△64,037	△23,982
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△284,034	△1,206
無形固定資産の取得による支出	△5,983	△12,138
貸付けによる支出	△64,100	—
貸付金の回収による収入	215,766	6,486
霊園開発協力金の支出	△651,152	△57,923
霊園開発協力金の回収	—	193,427
差入保証金の差入による支出	△176,078	△301
差入保証金の回収による収入	97,609	100,836
その他	△2,122	△14,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914,133	210,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	695,000	650,008
短期借入金の返済による支出	△588,799	△578,469
長期借入れによる収入	1,176,499	1,333,214
長期借入金の返済による支出	△881,827	△936,595
社債の発行による収入	196,302	488,708
社債の償還による支出	△191,000	△174,000
自己株式の取得による支出	△36,663	△103
配当金の支払額	△95,777	△93,533
その他	△1,570	△1,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	272,165	687,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△594,231	956,396
現金及び現金同等物の期首残高	1,778,014	1,637,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,183,783	2,593,397

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。